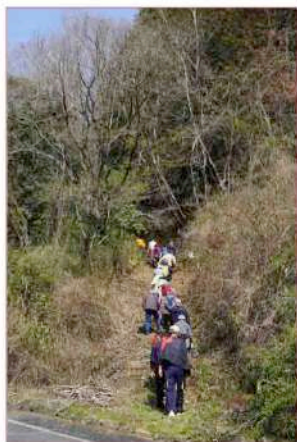


# 中国地方、岡山県の古道 備中とと道トレイルが

2024.2.5



&



矢掛宇内角坂の登り

2024.3.8



未来遺産運動



## に認定されました

## ご挨拶

今から8年前、私たちは明治～昭和初期にかけて瀬戸内海の鮮魚を笠岡から約60km北方の吹屋まで12時間で運んでいた魚荷道、通称「とと道」を深い森の奥で再発見しました。

その後沿道の諸情報を頼りに一本の歩く道として特定、整備し、多くの方に歩いていただけてきました。

その道がこのたび夢街道ルネサンス、ユネスコ未来遺産として相次いで認定され、大きな感動と使命感を感じております。

今後はここを舞台に、地域の歴史・文化・自然遺産の継承、沿道市町間の連携による地域の活性化、子供達の郷土愛の育成に微力を尽くしたいと願っております。

備中とと道トレイルを歩いていただくのは、

- ①ホモサピエンス=ヒトの何より大切な足が、このとと道で直立二足歩行を繰り返して元気に復活(=ルネサンス)するため。
- ②南の石の島笠岡諸島、北のジャパンレッドの吹屋の2つの日本遺産を結んで備中を南北約60kmにわたって縦断する沿道の多様で豊かな事象を楽しみ、備中を深く知っていただき、愛していただくため。
- ③歩いてとと道を踏み固めて、100年後の子どもたちに伝えるため。

については「とと道ガイドブック」と「見聞録」を相棒に、魚仲仕の力強い歩みに思いをはせながら、折にふれ、自由に、気ままに歩きつづけてください。道は歩けば維持されます。歩かなければ森の中に消えてゆきます。

備中とと道トレイル推進協議会  
会長 小見山節夫

2024.3





令和6年2月14日

備中とと道トレイル 会長 殿

夢街道ルネサンス推進会議

会長 芦谷 茂

令和5年度「夢街道ルネサンス」新規認定について（通知）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、街道の保全・活用、地域が主体となった地域づくりの推進にご尽力いただいておりますことに、心から敬意を表します。

さて、この度、夢街道ルネサンス推進会議において、下記地区が令和5年度の夢街道ルネサンス新規地区として認定されましたので通知いたします。

記

■ 令和5年度「夢街道ルネサンス」認定地区

No. 52 備中とと道トレイル（笠岡～矢掛～井原～高梁）

夢街道ルネサンス推進会議 事務局

一般社団法人 中国経済連合会 晋坂

国土交通省 中国地方整備局 道路部 地域道路課 小倉

TEL : 082-511-6315 / FAX : 082-511-6319

## 夢街道ルネサンス 認定要件

<最低限必要な認定要件>

- 1) 街道を中心として、地域主体で「歴史を活かした地域づくり等」の計画策定及び施設整備の推進を行う組織がある。または、設置することができること。
- 2) その組織が、計画づくり・基盤整備に向けた継続的な取り組み姿勢・熱意があること。
- 3) 「夢街道ルネサンス」の主旨、活動に協賛し、認定後に年度毎の活動状況等の概要報告ができること。

<望ましい認定要件>

- 4) 基盤整備に向けては、地域の様々な意見を踏まえて策定される「歴史を活用した地域づくりビジョン（計画）」を策定できること。
- 5) 中心となる街道については、その歴史的な特徴・背景など対外的にPRできること。

2023.12.5 認定視察講評（成羽たいこまるプラザにて15:30~16:00）

■小島光治（Uエンタープライズ代表）

大変効率的に長区間を案内いただき素晴らしいトレイルだと思った。問題はこれを未来の子どもたちにどう伝えて行くかだ。名称について古道ではなく「トレイル」としている点に先見の明があると思うが、私の住んでいる岩国では宿場だったこともあり、子どもたちと大人が街道を一緒に歩くといったことを習慣的に実施している。米軍の基地があるので、そこで日米の子どもたちに環境関係の講座なども提供している。とにかく、今後そうした機会を持つことが必要だろう。特に小中学生をターゲットにする必要がある。ついでながら美星の夢味庵の豚バラ肉煮込みは絶品だった。そば定食のつもりが主役はポリウムたっぷりのバラ肉で、それだけで満足な思いを持てた。

■松波龍一（松波計画事務所 代表）

講評などとはおこがましいが、ジャングルのような中を案内いただき大変嬉しかった。心ある人は変に飾った最近の街並ではなく、むしろ枯れ草まみれのあいう道を歩きたいのではないかと思った。そんな道を慈しんでメンテしている人たちがいると知ってほっこりしていい気分になった。ルート特定の為のキーとなった道標を笹藪の中から見つけた時に大変興奮したということを知ってそんなことに興奮する人がいるんだと知って嬉しかった。道中いくつか看板を見たがその小ささが周囲の雰囲気壊す様なことがなくて、大変良かった。一般にはともすれば大きな看板を作りたがるが、必死になって見ようと思えば看板は小さくても見える筈だ。沿道の諸事象を深掘りした見聞録を発行の予定とのことだがそれをまとめて百科事典にするのもいいだろう。ガイドブックの表紙に魚仲仕の古い写真があるが、沿道のこんな写真を集めてHP等にアップするのもいいだろう。次の機会には是非歩きたい。



## 夢街道ルネサンス推進会議 規約

(名称)

第1条 本会議は、「夢街道ルネサンス推進会議」(以下「推進会議」という。)と称する。

(目的)

第2条 歴史的にみてかつての街道が、地域の暮らしを支え、文化交流や経済発展の場となってきたように、道路の役割を多面的に利用し、地域の連携交流による地域の振興を図るため、中国地方の歴史・文化・自然等の地域特性を活かした地域づくりを支援することを目的とする。

(活動内容)

第3条 推進会議は、前条の目的を達成させるため、夢街道ルネサンスの地区認定を行い、次の事項の基本的考え方及び支援方策について提案を行うものとする。

1. 中国地方の歴史・文化・自然等の魅力の再発見
  2. 中国地方の歴史・文化・自然等を活かした道づくり、街づくり等の地域づくり
  3. 1及び2に関する情報の共有化、一元化及び情報発信
  4. 中国地方で展開される地域づくりに関する広域的な課題への対応
- 2 推進会議は、地区認定の要件を別紙「認定要件」のとおり定めるものとする。

(組織)

第4条 推進会議は、別紙「委員名簿」に掲げるメンバーとし、会長を置く。

- 2 推進会議は、必要に応じて関係者の出席を求めることができるものとする。

(会議の運営)

第5条 推進会議は、必要に応じて会長が召集する。

- 2 会長に事故があった場合は、あらかじめ会長が指名した者が会務を代行することができる。

(顧問)

第6条 推進会議に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、必要に応じて会長が委嘱する。
- 3 顧問は、推進会議に出席し、助言やその他必要な協力をすることができる。

(事務局等)

第7条 推進会議の運営に係る業務を行うための事務局を別紙のとおりとする。

(その他)

第8条 この規約に定めるもののほか、推進会議の運営について必要な事項は、推進会議の協議により定める。

(付則)

- この規約は平成12年8月21日から施行する。  
 この規約は平成22年1月21日から施行する。  
 この規約は令和2年9月11日から施行する。  
 この規約は令和6年2月5日から施行する。

## 夢街道ルネサンス推進会議 委員名簿

(敬称略)

分野	所属・役職	氏名	備考
会長	(一社)中国経済連合会会長	芦谷 茂	
委員	(学識者)	島根大学教育学部教授	作野 広和
	(観光)	(一社)日本自動車連盟中国本部事務局長	神吉 靖視
		(公社)日本観光振興協会中国支部事務局長	天野 清彦
	(地域づくり)	U・エンタープライズ株式会社代表取締役 松波計画事務所代表 一般社団法人Hello Hiroshima 代表理事	小島 光治 松波 龍一 吉原 俊朗
(関係行政機関)	中国運輸局観光部長	島津 克紀	
	中国地方整備局道路部長	門間 俊幸	
オブザーバー	鳥取県県土整備部長 島根県土木部長 岡山県土木部長 広島県土木建築局長 山口県土木建築部長 広島市道路交通局長 岡山市都市整備局長	蒲原 潤一 五十川 泰史 長尾 俊彦 上田 隆博 片山 克浩 戸田 祐二 平澤 重之	
顧問	中国地方整備局長	中崎 剛	
事務局	(一社)中国経済連合会 中国地方整備局 道路部 地域道路課		



# 魚仲仕の意気と忍耐で 踏み固められた一筋の道



びつちゅうととみちとれいる

## 備中とと道トレイル (笠岡～矢掛～美星～高梁)

令和5年認定 / 岡山県笠岡市・高梁市 / 備中とと道トレイル推進協議会

### 2つの日本遺産をつなぐ歩く古道

「備中とと道トレイル」は笠岡と吹屋をほぼ南北に一直線に結ぶ約60kmの道です。出発点の笠岡とゴールの吹屋は共に日本遺産に選ばれており、2つの日本遺産を繋ぐ唯一の歩く道でもあります。

明治から昭和にかけて、瀬戸内海で穫れた新鮮な鱈や鱒を笠岡の金浦市場から銅とベンガラ景気で湧く吹屋まで、魚仲仕

と呼ばれる屈強な運送人たちが40kgほどの魚を天秤棒で担いで約12時間かけて吹屋まで運んでいました。

スタート地点である金浦は16世紀に豊臣秀吉から日本国内で自由に漁業をする権利を与えられ、漁業の拠点としておおいにぎわいました。近世から近代にかけて地方行政に貢献した豪商の母家である久我邸

旅人の無事を祈る  
思いの込められた  
道標 そしてお堂



笠岡・山田の四つ堂



宇治・石田の四つ堂



小田東町・江戸期の道標



布東・刻字(成羽、吹谷)

にかつての繁栄をしのぶことができます。ゆるやかな丘陵地帯を進み、小田市街に入ります。現在の小田地区はかつては小田郷とよばれ、美星から笠岡をカバーしていた小田郡の政治の中心地であったとされます。平野部分を抜けるとコースはしだいに傾斜がきつくなり、緑豊かな吉備高原を北上します。美星地区ではゆるやかな斜面が波打つ様に続く特有の波浪状地形が見られます。道中の随所に、旅人が目的地に向って歩くのに不可欠な道標や辻堂が残り、かつての旅人の気分を味わえます。山あいの谷を流れる日名川沿いに進むと、昔から交通の要衝だった成羽に到着し

ます。市街には大曲りが2つあり、西の大曲りの角には藩の主要業務を担う成羽藩勘定所がありました。通りの西には屋敷門や陣屋町屋敷跡が続いています。旧道沿いにある大神宮の境内には、江戸時代末期に各地の船問屋の寄進によって造られた玉垣があり、当時の成羽の広い通商圏が確認できます。成羽から吹屋へ山道を登っていくと、窓坂峠でぽっかりと視界が開け、遥か下に成羽の市街の眺めが広がります。幾度か坂を登っては下り、ジャパンレッド発祥の地として日本遺産に指定された吹屋へと道は続きます。

#### 4市町の郷土史研究家グループが連携して「とと道」を再発見



備中とと道トレイル推進協議会メンバー  
金浦(矢掛)・徳野(成羽)・大平(笠岡)・守屋(矢掛)・金子(矢掛)  
塩田(笠岡)・森山(笠岡)・小角山(高梁)・高梁(高梁)・西田(井原)

とと道再開発は2016年6月、当時の高梁川流域学校(神崎宣武学長)からの呼び掛けに応じて始められました。その結果4市町の郷土史研究家グループのメンバー12人が各地で再開発に参加、2017年末までには一般の方に歩いていただけるまで整備が進みました。そこで2018年1月に公開ウォークを実施、友人知人20人が参加し、笠岡～三山を歩きました。以来2023年3月末までに16回のウォーク大会を実施、500人近い方の参加を得ています。車社会が進み、歩く機会が激減する中で先人を思いながらじっくり歩くことのできるとと道の価値が次第に評価され、知名度もたかまりつつあるように思われます。





- ① 浜の住吉神社
- ② 久我邸
- ③ 助美地区聖地
- ④ かさおか古代の丘スポーツ公園
- ⑤ 宇内ほたる公園
- ⑥ 43番霊場
- ⑦ まほろしの県道登り口
- ⑧ 徳山牧場
- ⑨ 美星天文台
- ⑩ 三山金定古墳
- ⑪ 影安のお堂
- ⑫ 成羽たいこまるプラザ
- ⑬ 窓坂峠
- ⑭ 石田の五輪塔
- ⑮ 吹屋



吹屋下谷



窓坂峠から見た成羽



小田日置谷



美星天文台



● 公共交通  
 吹屋：備北バス⇄JR高梁駅  
 成羽：備北バス⇄JR高梁駅  
 三山：北振バス⇄矢掛駅  
 小田：井原線⇄JR吉備線清音駅  
 笠岡：JR笠岡駅

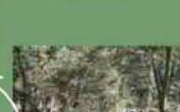
## ぶらり歩いてみよう

お勤めの歩き方は全行程を4セクションに分けての日帰り駅からウォーク。概要下記参照。詳細はガイドブック or HP のプチガイド参照。夏は避け、草刈りの済んだ12~5月がお勤め。

① 瀬戸内コース (15km 4:30)  
 JR笠岡駅→金浦→矢掛→井原線小田駅



小田川



笠岡  
 ふるさとの森遊歩道  
 浜の住吉神社

② 里山コース (10km 4:30)  
 矢掛・井原線小田駅→毛野→三山→(バス)→井原線矢掛駅



徳山牧場



江戸期の道標  
 刻字(なりは)  
 角坂の登り

③ 吉備高原コース (14km 4:00)  
 矢掛井原線・矢掛駅→(バス)→美星・三山→成羽→(バス)→JR高梁駅



金定の波浪状高原風景



サモトラケのニケ



あずきもち入口



影安のお堂

④ 吹屋山岳コース (15km 6:00)  
 JR高梁駅→(バス)→成羽→宇治→吹屋→(バス)→JR高梁駅



窓坂



吹屋の街並



島木橋



石田の五輪塔

## イベント・活動

備中と道トレイルウォーク大会

11月の草刈りが済んだ12~5月の間に4回ほど開催します。HP参照。



備中と道トレイル草刈り大会

毎年11月、夏の間にはすっかり60年前の姿に戻ってしまったと道をボランティアの草刈りで再生させます。HP参照。



## みんなが集まる 交流施設 & 協議会現地案内担当者

- 吹屋：カフェ燈 (0866-29-3050)  
 戸田誠 (090-4571-6807)
- 成羽：たいこまるプラザ観光案内所 (0866-42-4325)  
 佐野金司 (090-3373-5971)
- 美星：青空市観光案内所 (0866-87-3349)  
 西田秀夫 (090-4690-7594)
- 矢掛：やかげ町家交流館 (0866-63-4446)  
 金子晴彦 (080-3390-6935)
- 笠岡：塩田宏之 (090-3881-7915)



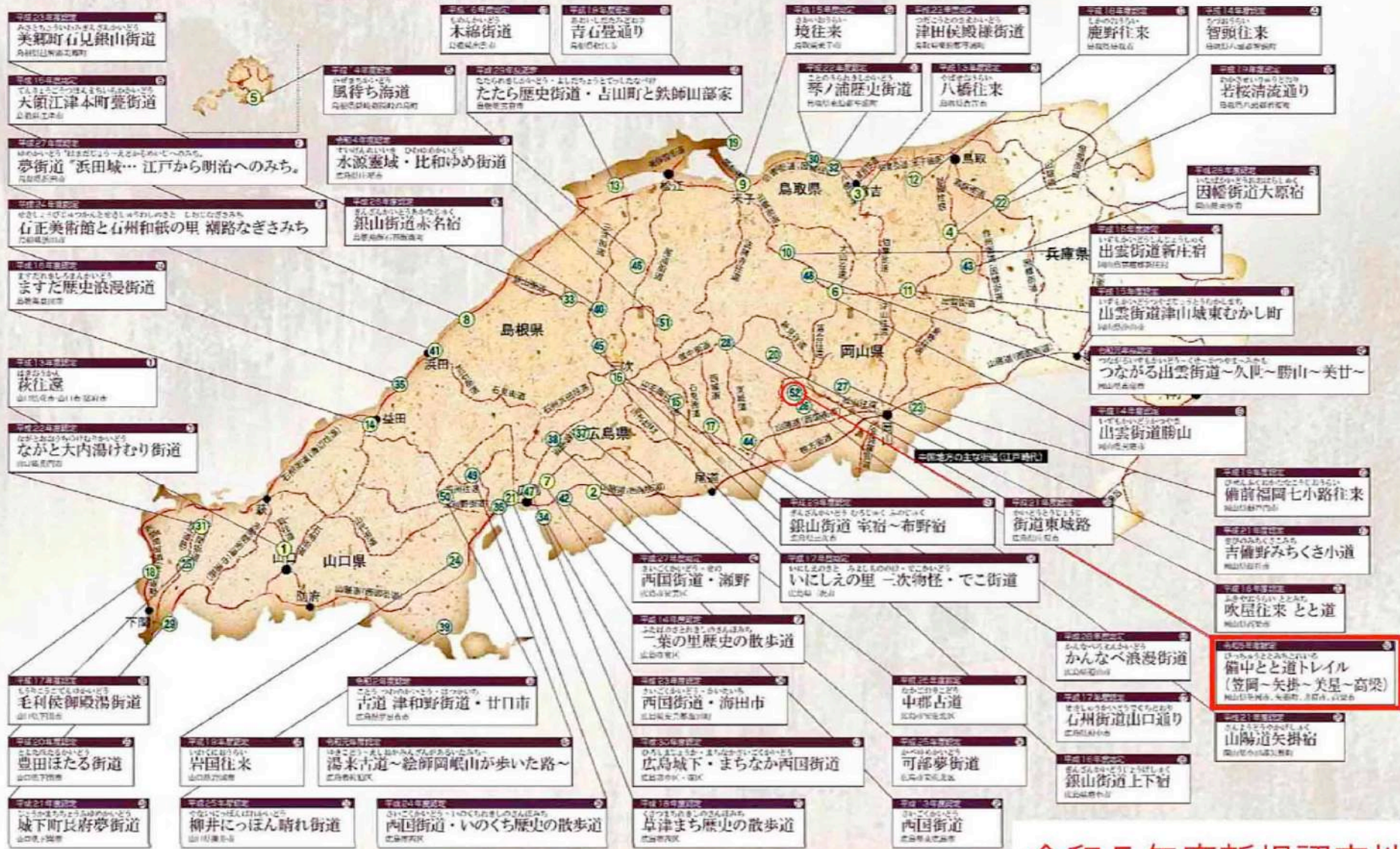
# 夢街道ルネサンス認定地区

## 歴史や文化を今に伝える中国地方の街道

### 夢街道ルネサンスの背景と目的

夢街道ルネサンスは、歴史や文化を今に伝える中国地方の街道を「夢街道ルネサンス認定地区」として認定しています。中国地方の豊かな歴史・文化・自然を生かし、地域が主体となって創出される地域づくりや経済・文化を志め、地域の活性化を図ります。地域づくりとともに、目的地に向かって移動するだけでなく「楽しみながら進む」新しい「街道文化」の創出を目指します。

夢街道ルネサンス推進会議 事務局（一社）中国経済連合会



令和5年度新規認定地区





## 未来遺産運動

公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟

日ユ協連発第23-90号  
2024年 3月 18日

備中とと道トレイル推進協議会  
会長 小宮山 節夫 様

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟  
理事長 鈴木 裕司  
未来遺産委員会 委員長 西村 幸夫

### 「プロジェクト未来遺産2023」登録決定のおしらせ

拝啓 弥生の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度は「プロジェクト未来遺産 2023」にご応募いただき誠にありがとうございました。  
2023年度は、全国から19プロジェクトの応募をいただきました。

2024年3月8日（金）に開催された未来遺産委員会での厳正なる審査の結果、別紙の千個言う理由により、貴団体の活動が「プロジェクト未来遺産2023」として決定しましたので、ここにご通知申し上げます。

今後は「プロジェクト未来遺産」に登録されている団体の皆様と共に、全国区それぞれの地域の“たからもの”を未来へつないでいく活動を協力して進めて参りたいと存じます。

登録後の流れにつきましては、別途資料をご確認いただき、ご不明点等がございましたら未来遺産運動事務局までお問い合わせ下さい。

改めまして貴団体の皆様の日頃の活動に心より敬意をひょうじますとともに、益々のご発展をお祈りいたします。

敬具



笠岡・助実への急登

#### ■プロジェクト名

歩こう子どもたち！～未来へつながる「備中とと道」～  
団体名：備中とと道トレイル推進協議会  
エリア：岡山県笠岡市、矢掛町、井原市、高梁市

#### ■プロジェクト概要

「備中とと道トレイル」とは、明治から昭和初期にかけ、瀬戸内海沿岸の笠岡市金浦から新鮮な魚を吉備高原山中の吹屋まで、屈強な魚仲仕（うおなかせ）が夜掛のリレー方式で運んだ南北約60kmにわたる山道である。近代化によりこの道は使命を終え森の中に放置されたが、「備中とと道トレイル推進協議会」の前身団体や地元の個人らによる膨大な作業の末、2017年に1本の道を同定した。この復元した道を「歩く遺産」として後世に残すため多様な活動を展開している。定期的な草刈り、沿道の歴史、文化、自然に触れるトレイルウォーク大会の開催や地元の学校（衛生士学科）での出前事業、道標整備、ガイドブックの発行等沿道地域の歴史文化や暮らしの記憶を発掘し、次世代へと継承している。

#### ■選考理由

明治から昭和にかけて、瀬戸内海の新鮮な魚を吹屋まで運ぶために知恵を絞って作り上げたローカルな運搬システムに着目し、その史実を古地図や道標、祠、地蔵や東屋を頼りに確認・同定し、現代において実際の空間である「道」として、大変な努力を払って蘇らせ、楽しみながらその道にまつわる様々な出来事を多世代と共有している活動は賞賛に値します。

民間から始った地道な活動が地域住民の協力により維持され、周辺の地域から多くの参加者を呼び、地元の学校にも参加してもらう大きなムーブメントとなったことで、行政をも巻き込み、地域活性化につながっている点が高く評価されました。



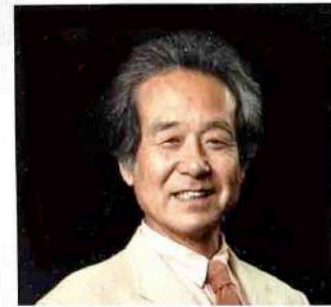


私たち日本人の暮らしに寄り添い、豊かな心を育ててきた四季折々の美しい自然や伝統文化は、いまの時代を生きる私たち一人ひとりに受け継がれたかけがえのない、“たからもの”です。

近年、それらの“たからもの”の多くが、地球規模の環境変化や、日本社会が直面する少子高齢化や過疎化などの影響により深刻な危機に瀕しています。行政などによりさまざまな施策が講じられてはいますが、技術や資金、人材が不足するなかで、地域の人々の努力だけでこうした課題に立ち向かうことが難しくなっています。

未来遺産運動は、地域の“たからもの”を未来の子どもたちに伝えたい、という想いの下、未来へと継承していくための地道な努力を続ける“人”と“活動”に光をあて、応援するものです。

市民による草の根の活動を「プロジェクト未来遺産」として登録することで、次世代を含む個人や企業、行政による理解と協力や、さまざまなつながりを生み出し、さらには日本全国に運動の輪を広げていくことをめざしています。



未来遺産委員会  
委員長

西村幸夫  
國學院大学  
観光町づくり学部学部長

今回応募のあったプロジェクトの多くは、困難の中でも活動を継続し、コロナ禍という大きな試練をも乗り越えてきた力のある素晴らしいものばかりでした。

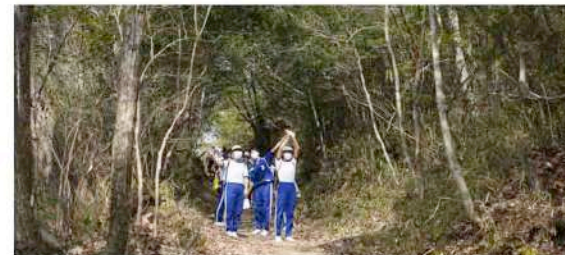
その結果、例年以上に「プロジェクト未来遺産」の主旨に合致するものが多く、議論は白熱し、審査は非常に難航しました。

最終的に選ばれたプロジェクトは、携わる人びとの熱意と工夫が詰まった活動であり、100年後の子どもたちに継承すべき活動でした。

また、例年であれば登録に至っていた可能性のある活動も、厳しい競争の中で残念な結果になってしまいましたが今後も活動を継続していただきたいと思います。



2023.3.10  
成羽小学校6年生  
出前授業



「ふるさとを知ろう」  
で成羽=窓坂をウォーク

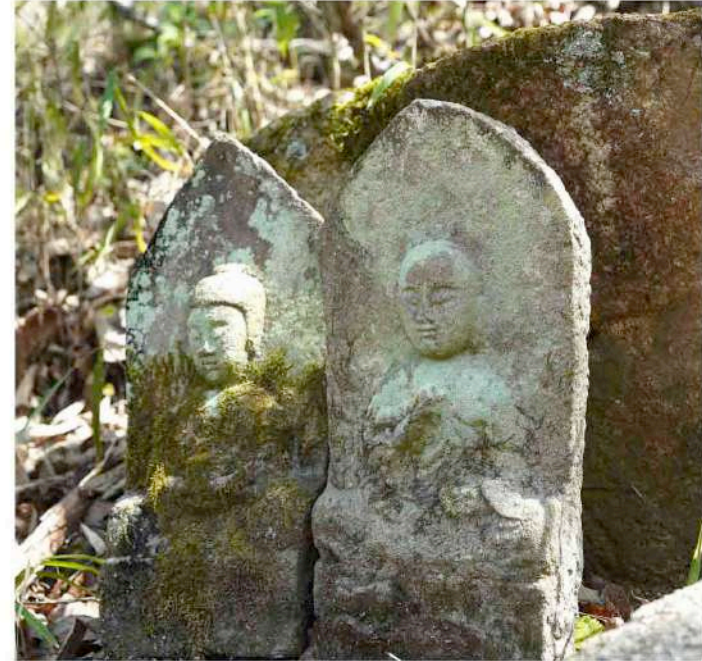


## 成羽小学校6年生のとと道体験の感想

2024年3月4日 座学1時間

8日 成羽⇄窓坂ウォーク 3時間

- ・今度とと道を歩くときは60kmすべて歩きたいと思っている。とと道について調べ、どんな歴史があったか知りたい。
- ・歩くのはしんどかったけどきれいな景色が見れた。昔の人はそれを見ながら歩いていたのがしんどそうでもいいなと思った。
- ・水筒だけ持ってあるいたのにみんなつかれはてていました。昔の人は40kgのかごを背負って60kmも歩いたのはすごいと思いました。
- ・とと道のあるいてみて私は沢山の人々が協力してとと道をふっかつしていてすごいと思った。吹屋まで歩いてみたい。
- ・吹屋のお金持ちが金を払って運ばせたらしいのでやっぱり世の中金だなあと思った。また行こうとは思わないけど昔のことが分るとと道を大切に守っていきたいと思う。
- ・魚を運ぶ人はなんでそこまでしてはこぶんだろうと疑問に思いました。家の近くにとと道があるのでまたのぼりたい。
- ・とと道のけっこう上まで行って楽しかったです。もうさいこう、さいこう、さいこう、さいこう、さいこう、、、
- ・たくさんきゅうけいじょやおじぞうさんがあった。また吹屋まであるいてみたい。



矢掛・川面四国88ヶ所霊場  
第40番霊場

ご本尊 薬師如来

四国 愛媛県 平城山 観自在寺



# とと道

「夢街道ルネサンス」, 「ユネスコ未来遺産」  
ダブル認定記念会員募集

明治から昭和初期にかけて  
瀬戸内海沿岸の金浦から吉備高原の吹屋銅山までの60kmの道をおよそ40kgほどの鮮魚を天秤棒で担ぎ、夜を徹して12時間かけて駅伝方式で運んだ魚仲仕（うおなかせ）と呼ばれる男たちがいました

当時、銅とベンガラ景気に湧いていた山奥での何よりの御馳走は海の幸=とと（さかな）銅山の関係者は新鮮な鯛、鯖（さわら）、鱒（ぶり）を熱烈に求めました魚仲士たちはこの欲望に力の限り応えましたそれを運んだルートが、「とと道」。私たちは半世紀前に使命を終え、森の中に埋もれていたこの道を再発見、整備しました

夏には雑草が道をおおい、歩けなくなる部分もあります  
秋に草刈りをすると往年の姿が現れ、多くのウォーカーがこの道をたどりました

この道を歩けば  
直立二足歩行を支える脚が本来の活動により元気に復活（ルネサンス）します  
距離を越え、時代を越えて備中の様々な世界が見えてきます  
歩いて道を踏み固めれば道は100年後の子どもたちに伝えられます

この道がこのたび国交省中国地方整備局が推進している「夢街道ルネサンス」、そしてユネスコが推進する「ユネスコ未来遺産」に認定されました。裏面の協議会規約（抜粋）をご参照いただき、活動趣旨にご賛同いただければ、添付の入会申込書に必要事項記入の上、地区内役員あるいは事務担当宛お申込み方よろしく願いいたします。

とと道会員となり  
とと道を維持し  
ひとの最愛の相棒「歩く道」を共に歩きましょう



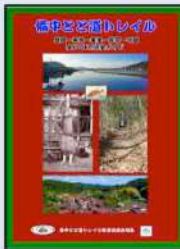
# ダブル認定記念！

## 「備中とと道トレイル見聞録」

### 発売開始！

一昨年秋の「とと道ガイドブック」発行に続き  
とと道沿道固有の歴史、自然、文化、産業の中から  
興味深いみどころ16件の解説を42ページの冊子にまとめました  
題して「備中とと道見聞録」！

「とと道」を歩くには「ガイドブック+大型地図」を  
「とと道」をより深く知るにはこの「見聞録」をごらんください  
この2冊で「とと道」を大いに楽しみ  
踏みこめ、100年後の子どもたちにつなぎましょう



ガイドブックは現在  
今秋をめざして改訂  
出版の準備中です。  
とと道のHPに電子版  
が掲載されています  
のでご利用下さい。

販売地点  
吹屋：カフェ燈 (0866-29-3050)  
成羽：たいこまるプラザ観光案内所 (0866-42-4325)  
美星：青空市観光案内所 (0866-87-3349)  
矢掛：やかげDMO (0866-83-0001)  
やかげ町家交流館 (0866-63-4446)  
笠岡：市役所内教育委員会 (0865-69-2153)  
メール：HP（「とと道」で検索）のINFO欄から  
事務局：yakageshiro@gmail.com  
葉書等：〒714-1215 岡山県小田郡矢掛町中1208-1  
金子晴彦



## 備中とと道トレイル推進協議会規約（抜粋）

### 名称

第1条 この会は、備中とと道トレイル推進協議会（以下「本会」という）と称する。

### 連絡先

第2条 本会の連絡先は、小田郡矢掛町中1208-1 TEL080-3390-6935  
金子晴彦 備中とと道トレイル推進協議会事務局内に置く。

### 目的

第3条 本会は、笠岡市金浦から高梁市成羽町吹屋まで、明治～昭和初期にかけてリレー方式で魚貝類を運んだかつての往来、通称「とと道」の再生、利活用を通じて、地域の歴史、文化、生活情報の収集、トレイルウォーク実施、観光振興と地域間の連携を図り、「とと道」を後世に伝えることを目的とする。

### 事業内容

第4条 本会は、目的達成の為に次の事業を行う。

- ①とと道の調査、トレイルガイド冊子、関連書籍等制作。
- ②とと道の整備、道標等の設置。
- ③とと道の広報活動、ウォーキング等の企画・実施。
- ④とと道沿道学区の生徒へのとと道紹介、整備支援への参加促進。
- ⑤とと道ガイド育成講座開催（細則別途規定参照）。
- ⑥その他本会の目的を達成するために必要な事業。

### 組織と役割

第5条 この会の会員は次の2種類とする。

- ①正会員は、本会の目的に賛同し、入会登録を行い事業運営活動に参加する者とする。
- ②賛助会員は、本会の目的に賛同し、入会登録を行った者とする。

### 入会

第6条 会員として入会しようとする者は、入会申込書、会費を添えて会長あてに提出し、会長の承認を得るものとする。

### 会費

第7条 会員は、総会において定める会費を納入しなければならない。

- ①正会員 ￥2,000（入会金 ￥1,000 年会費 ￥1,000）
- ②賛助会員 ￥1,000（年会費 ￥1,000）

## 入会申込書

備中とと道トレイル推進協議会会長殿：  
活動の目的に賛同して、会費を添えて入会を申し込みます。

令和 年 月 日

氏名 男 女

生年月日 \_\_\_\_\_

住 所	〒
自宅電話番号	
自宅FAX番号	
携帯電話番号	
メールアドレス	
自動車免許	有 無
会員の種別選択	賛助会員
備中とと道推進協議会に対する要望等	
備 考	

申込書は地区内役員に提出するか下記まで郵送あるいはメールでお願いします。

〒714-1215 岡山県小田郡矢掛町中 1208-1/yakageshiro@gmail.com

備中とと道トレイル推進協議会 事務局 金子晴彦 ☎080-3390-6935